平成26年1月10日発行

新春の候、

市民の皆様におかれましては、

さ

11月通常会議

一般

質

問

〒520-8575 滋賀県大津市御陵町3番1号 TEL.077-528-2839 FAX.077-523-2020 URL▶http://otsu-koseikai.jp

であります。

会の活動実績を表彰する「第8回マニフェスト大賞」において、 定した実績が高く評価されたもので、地方自治体の首長や議 専門的知見を積極的に活用してまいりました。この仕組みに の条例提案や政策提言を行うに当たって龍谷大学と連携し、 国から評価された年でありました。本市議会では、 よって会派の枠を超え、「子どものいじめ防止条例」などを制 全国議会のトップとなる「議会グランプリ」を受賞したもの お迎えのこととお慶び申し上げます。 昨年は大津市議会が着実に進めてきた議会改革が全 議会から

改革を牽引し、より市民に開かれた議会を目指していく所存 注目されている大津市議会の最大会派としてこれからも議会 わが会派といたしましては、今回の受賞によって全国から

支援ご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、 年が皆様にとって希望に満ち溢れた年となりますことをご祈 最後になりましたが、市民の皆様には湖誠会にさらなるご 新年のご挨拶といたします。 本

幹事長 竹内 題夫

北 村 竹 内 中 野 横田 **武** 田 青山三四郎議員 前列右より 正二議員 平吾議員 照夫議員 治郎議員 好雄議員

遠田 津田 近藤 桐田 後列右より 眞弘議員 真人議員 新三議員 寛議員

輝かしい新年を て、県に回答した。 方を聞く。 Q 八田

Q

配備について消防団の災害における資機材の

中豪雨の中で身の安全を確保しつつ活動する団員のためにも、 資機材の配備は、必要であると考えるが、当局の見解を伺う。 風水害において、地域の実戦部隊として行動するためにも、 一定の

向上を図っていく。 計画的に配備し、消防団の機動力を生かした実効性のある災害対応能力の した。このことを踏まえ、今後風水害に対応する水防資機材等を 台風18号において、 消防団装備の充実強化について、改めて認識



新駅設置構想について瀬田駅と石山駅間における

い情報をさらに共有していくことが何よりも大切であると考える。 ろである。瀬田新駅構想に関して、大津市民と地域住民の皆さんが正し できることでの問題点などを整理され、 大津市の見解について伺う。 大津市と同じく新駅計画が議論されていた草津市においては、新駅が 一旦凍結の方針を示されたとこ

鷲見

達夫議員

に影響を与えるものではない。 草津市の新駅計画凍結方針が、 大津市における新駅構想の動き

具体的な提示がない状況であり、本市としては、慎重な姿勢で臨んでいる。 おいては、JR西日本から本市に新駅を設置するかどうかの明確な意思と と考え方をお伝えしていく。 今回の新駅構想は、 また、市民の皆様には、これからも議会の場を通じて市の取り組み状況 JR西日本からの提案に端を発しており、 現時点に

竹内

孝昭議員 基二議員

八田

憲児議員

憲児議員

国民体育大会について

Q

竹内

基二議員

交通対策について近江大橋無料化に

橋無料化に伴う

市が連携して積極的に行うことが市長の手腕だと思うが、本市の考え 平成36年開催第79回国民体育大会の主会場の整備については、 県と

ついて伺う。

近江大橋無料化に伴い、市街地に流入する自動車の交通安全対策に

市皇子山総合運動公園陸上競技場も県の条件に適合する市有地施設とし 丘文化公園・びわ湖文化公園都市を選定されたが、 現在、主会場の候補地として、滋賀県立彦根総合運動場・希望ケ 本市は、 大津

な生活道路への流入について、無料化後のシミュレーションが行われたとこ

「近江大橋無料化対策会議」におい

いて、幹線道路に接続する狭隘

刈する交通安全対策については

市街地に流入してくる自動車に対

ろ、市道への流入量は、増加することが見な

込まれている。本市においては、

待できるものである。いずれの場合にしても、 利益にかなうものと考えており、今後共、県における動きに対応していく。 クセスや大学連携などのメリットがあることから、スポーツ拠点として期 一方で、県が候補地としている「びわ湖文化公園都市」は、 国体の主会場招致は本市の 広域交通ア

Q

要な箇所について対応していく考えである。

た効果について引き続き検証されることと

なっており、さらなる対策が必

ることとしている。また、無料化実施後も対策会議において、対策を行っ 道路を通り抜けようとする車両が市道へ流入しなくなるよう、対策を講じ たり、ポストコーンなどを設けて車道の幅員を狭めるなど、視覚的に生活 市道への流入を可能な限り抑制するため,外側線やカラーの外側線を引い

3年保育について

子育て支援新制度」を控え、その導入についての考えについて問う。 育の推進を挙げられているが、平成27年度からスタートする「子ども・ 市長は、待機児童の解消と多様な保育に ||一ズの対応として、3歳児保

で検討していく。 解消に全力をあげると共に、子育 3年保育の導入については、まずは3歳児を含めた待機児童の てスマイルプロジェクト等の中

公立幼稚園のあり方の検討なども踏まえ、 立幼稚園との関係などの課題があるため、 また、教育環境整備や必要経費、幼児教育を互いに補完し合ってきた私 全市的な視野で議論していく。 **幼保一体化に向けた取り組みや**

武田

Q

題について

の意思の反映について、また、事業申請にあたり供託金の預託について、 棄などの度重なる問題事件発生の抑制策や事業の許認可にあたり住民 市の考えを伺う。 環境問題について、産業廃棄物処理事 業や土砂埋め立て及び不法投

意の仕組みとして規制の強化や対策など 正を2月通常会議に提案の考えである。 ためまた、施設設置に伴う住民の 環境に関する事業の問題発生の の制度の創設や条例の全面改 不安を払拭するため、住民合 抑制や違法行為の防止を図る

染した土壌の撤去を完了する。

は、市民の皆様とともに歩んでいきます。~これまでもそしてこれからも~



THE TELESTICATION OF THE PERSON OF THE PERSO

道路行政では161号バイパスの真野IC以南の4 車線化や、小松拡幅の促進。また来春には和邇 ICに「道の駅」が完成します。



中野治郎

人づくり、まちづくりに全力投球します。 ①未来を担う大津っ子の育成。

②文化遺産を活かした比叡山坂本のまちづくり。



湖誠会の一員として、大津駅を中心とする街づ くりの推進と、2年目を迎える朝の読書の一層の 充実を図ってまいります。



竹内照夫

平野市民センターの移転新築については、平成 26年度に設計、平成27年度に新築工事を実施し、 平成28年度の開設に向けて全力を傾注します。



鷲見達夫

副幹事長

皆様方の声を市政に反映し『住んでよかった大 津』を目指します。特に京阪唐橋駅踏切交通渋 滞緩和に向け取り組んでまいります。



桐田真人

学校教育施設の改修に取組み、さらなる教育 環境の充実を目指します。また、地方議員として、 議会機能の充実と強化に努めます。

映できるよう引き続き出委員を通して計画に 画となるよう、 とも必要なところです 訶を進めていきます。 CPが実効性の 誠会としては、 極的に議 会派にな あ 回 に おい 議 会 き検



整備することです。 て時系列に整理す るこ また、災害の規模や種類に応

情報を的確に収集し、 :議員と事務局職員 議会が本来の機能 を適正に果たすためには、まず 適正な審議を行うための環境 安否確認が重要です。そして、

式を活用して議会BC

ないことが問題となっています。

大津市議会では、ワークショップ形

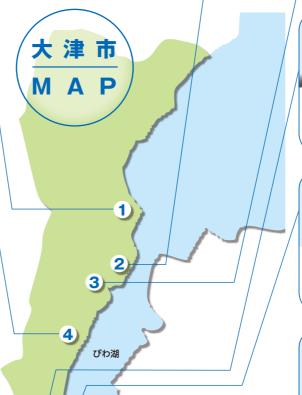
P(業務継続計画)の策定を

表制の一翼である議会が、予算の内容をチェックでき

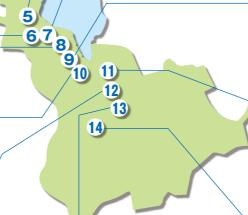
津田 新三

副政調会長

堅田駅西口土地区画整理事業の力強い推進と 町づくりの基本となる社会教育などのソフト事業 の充実に皆様方と共に全力で取り組みます。



5 6.78 **11**) 10 **12 -13**)





災害時に本領を発揮する県道伊香立浜大津線 の平尾工区が本年竣工予定。悲願の全線開通に 向け、促進協議会長として全力投球します。



八田憲児

先人からの教えを守り知恵を生かし、正しい道 徳心、倫理観、価値観を持ち、地域に根差ざし た議員活動に専念します。



幹事(会計、書記)

大津百町を舞台とした、第二期大津市中心市 街地活性化基本計画の推進と災害に強いまちづ くりに取り組みます。



幹事 (広報)

歴史文化を大切にしたまちづくり、子育てや介 護のための施設整備、交通事故のない環境づく りを進めます。



近藤真弘

初心を忘れることなく「安全で安心・活気と和み のあるまちづくり」を目指し、市民のための市役所 改革と議会の活性化に向け全力で取り組みます。



横田好雄

防災や災害からの復旧災害時における議会の

責任と役割が問われています。 災害等を経験する中にあって、 .南部豪雨災害、そして昨年9

月には台風18号による

東日本大震災、

昨年の台風18号被害に鑑み、大戸川ダムの建設・ 同河川改修の早期着工や同地先のほ場整備促進に取 り組み、また新名神及び南桐線の建設実現に努めます。

害時や緊急時におけ

:る課題に対して考え直す必要に

議会としても、今一度、災 復興に敏感となる地域や市

民からの要請に対して

坦られています。

か市長によって専決処公災害時においては、復

復旧・復興に必要な予算など

分されることが多く、二元代



平成26年度は議会及び議員活動として、大津 市議会BCP等、市民の皆さまに直結した政策

を中心とした活動を行います。 人津市議会BC

.の策定について

-の上限を1・25倍と し、可決されました。 し、2年間据え置くことを内

れた施設使用料設定基 るものの、市民のみなさ 定めることを基本とし 公共施設の使用料につい歴史博物館や生涯学 負担増となることか ・5倍とする改定案が 現在の使 、その 且 ら、平成26年4月からは増加 らんにとって、あまりにも急激 的や考え方については理解でき ?市長から提案されました。 用料を平成26年4月から最大 て、施設ごとにその公共性な 準に基づき、統一した基準を いて、平成23年3月に策定さ 文化ホールなど

公共施設使用料 **証改定案を修正可決**

習センター、